

横浜市と企業との合同による現地調査&セミナー開催

市内企業が有する技術・製品等をパッケージ化して「横浜発都市ソリューション」として提案

Y-PORT 事業では、横浜市内企業が有する技術・製品等を、都市課題を解決するためのパッケージ型ソリューション(横浜発都市ソリューション)として組み立てて、海外都市に向けて競争力のある提案を行うことが重要と考えています。

そこで、ベトナム国ダナン市、フィリピン国カガヤン・デ・オロ市及びメトロセブで企業の皆様との合同調査やビジネスマッチングセミナーを実施し、現在は今年度の検討結果を取りまとめる段階をえています。

本稿では、これまでの活動報告として、4つの都市ソリューション案についてご紹介します。

理設備の設置や中央処理場の機能強化等、日本企業が様々な提案を行ってきましたが、事態は解決されていません。

この都市課題に対して、参加企業(パシフィックコンサルタンツ)から、同地区の水質改善のための集合排水処理システムと地域活性化対策としての市場の観光施設化を組み合わせた事業構想について提案がありました。ダナン市計画投資局からはダナンの実情と将来性を見込んだユニークな提案で、今後も一緒に検討していきたいという評価がありました。また、建設事業において横浜市内企業が有する排水処理技術やコールドチェーン技術の導入が期待されます。

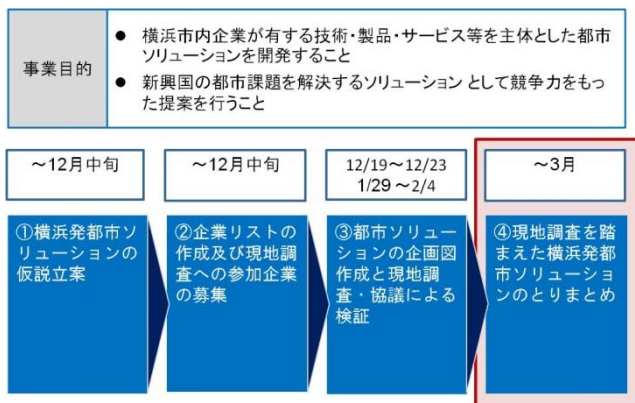


図1 事業フロー

1. 漁港の水質改善と観光拠点化事業の提案(ダナン)

ダナン市では、「第5回ダナン都市開発フォーラム」の中で、北部のトクアン漁港の水質改善と観光拠点化について提案をしました。

ダナン市は、これまで避難港であったトクアン漁港について中長期的に一大水産基地として整備していく構想を持っています。一方で、同地区の海域には、水産加工工場の未処理排水や卸売市場の水産排水、漁船排水、周辺的生活排水が流入し、乾季には悪臭が発生するなど、深刻な環境問題となっているのも事実です。これまで水産加工工場への排水処



写真 ダナン都市開発フォーラムでの日本企業のプレゼン

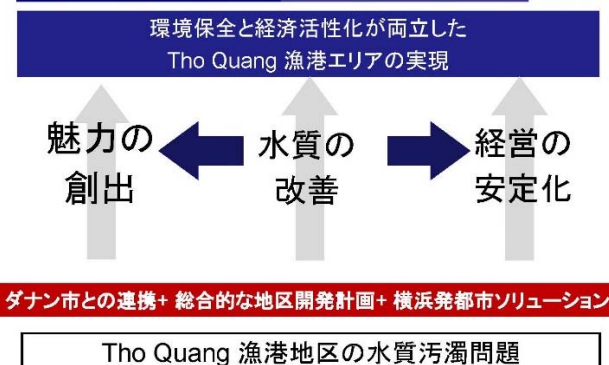


図2 提案の概要

2. 民間施設向けの排水処理システムの提案(カガヤン・デ・オロ)

カガヤン・デ・オロ市には下水処理場等の集中排水処理施設が存在せず、民間のホテルやショッピングモール、工場が排水処理を行い、放流しています。現状では処理が不完全なために処理施設から悪臭が発生し、水質基準に達していない排水が放出されるなど、集客施設として深刻な影響が懸念されています。

そこで、横浜市内企業である日之出産業(都筑区)とショウワ洗浄機(西区)が自社の排水処理装置について提案を行いました。また、アムコン(港北区)は自社の汚泥脱水装置を紹介しました。セミナー後には詳細な説明を求める現地企業と市内企業とのサークルがいくつもでき、現地での関心の高さを伺わせる真剣な意見交換が行われました。



写真 カガヤン・デ・オロ市でのセミナー後の打合せ

3. 建築物の省エネ化に関するワンストップサービスの提案(ダナン、メトロセブ)

ダナン市及びメトロセブでは大規模なホテルやショッピングモール等の建設がいくつも進行中です。また、エネルギーコストが上昇する中で、既存の建築物や工場等における省エネニーズも高まっています。メトロセブのマ نداウエ市では建築物に対する設計認証制度が条例制定されています。一方

で、省エネ診断後のソリューション導入に対するサポートはまだ手薄で、省エネ診断から設備導入のための省エネ補助金獲得、工事、O&M までのワンストップサービスに対する需要があると考えました。

ダナンでは、横浜市内企業であるオオスミ(瀬谷区)とファインテック(緑区)が、省エネ診断サービスや再生可能エネルギーシステムに関する提案を行いました。また、メトロセブでは、2017年1月に我が国と比国の両国間で合意を締結直後の JCM(Joint Crediting Mechanism)の設備補助事業について紹介しました。本制度は省エネ設備導入の際の日本の補助金として活用が可能であること、フィリピン企業と日本企業との連携が必須であり、両市の都市間連携を通じて具体的な案件を発掘していくことが呼びかけました。



写真 ダナン・フォーラムでの横浜市内企業のプレゼン

4. 選別センター(MRF)の提案(メトロセブほか)

萬世リサイクルシステムズ(金沢区)から MRF の提案を行いました。同社は、メトロセブのコンソラシオン市内に廃プラスチックから化石燃料の代替燃料(フラフ燃料)を製造するリサイクル施設を建設中です。工場や商業施設で分別排出された廃プラを選別・粉碎し、燃料として販売する計画です。また、横浜市資源循環公社(中区)が横浜市市内 4 か所で缶・びん・ペットボトルを選別し、資源化している資源化センターの取組を現地関係者に紹介し高い関心が寄せられました。

これらのソリューションは、新興国で共通するゴミの問題解決に貢献することが期待されており、早速、フィリピンの大手ショッピングモールから問合せ

せがあるなど、大変注目されています。



写真 メトロセブのセミナーの状況

5. 現地調査の概要

ベトナム国ダナン市、フィリピン国カガヤン・デ・オロ市とメトロセブでの現地調査及びセミナーは下記の日程で実施され、延べ 34社の参加がありました。

訪問先：ベトナム国ダナン市

期 間：平成 28 年 12 月 19 日～12 月 23 日

見学先：ダナン市の都市インフラ施設等

参加企業：12 社

(株)オオスミ(瀬谷区)、武松商事(株)(中区)、JFE エンジニアリング(株)(鶴見区)、(株)ファインテック(緑区)、萬世リサイクルシステムズ(株)(金沢区)、(株)ライブロンコーポレーション(瀬谷区)、(株)エイト日本技術開発(東京都)、クラウンエージェンツ・ジャパン(株)(東京都)、日本工営(株)(東京都)、パシフィックコンサルタンツ(株)(東京都)、みずほ情報総研(株)(東京都)、(株)三菱総合研究所(東京都)

訪問先：フィリピン国メトロセブ

カガヤン・デ・オロ市

期 間：平成 29 年 1 月 29 日～2 月 4 日

見学先：メトロセブ及びカガヤン・デ・オロ市の都市インフラ施設、企業等

参加企業：メトロセブ 14 社

カガヤン・デ・オロ市 8 社

アムコン(株)(港北区)、ショウワ洗浄機(株)(西区)、JFE エンジニアリング(株)(鶴見区)※、日之出産業(株)(都築区)、萬世リサイクルシステムズ(株)(金沢区)、横浜ウォーター(株)(中区)、公益財団法人横浜市資源循環公社(中区)、旭硝子株式会社(東京都)※、(株)エイト日本技術開発(東京都)、(株)建設技研インターナショナル(東京都)、

スタンレーエレクトリック(東京都)※、日本工営(株)(東京都)、NEC(株)(東京都)※、横河ソリューションサービス(株)(東京都)、みずほ情報総研(株)(東京都)

※マニラ支店やシンガポール支店からの参加企業

6. 第 18 回 Y-PORT ワークショップでの報告及び意見交換のご案内

3 月 7 日に横浜市内で開催する「第 18 回 Y-PORT ワークショップ」において、ダナン市やメトロセブ、カガヤン・デ・オロ市での調査結果と、横浜発都市ソリューションの今後の展開に関する市内企業との情報共有・意見交換を行います。貴社の海外ビジネス展開にお役立て頂きたい、同業者の皆様等お問い合わせの上、お申し込みください。皆様の御参加を心よりお待ちしております。

テーマ：ダナン、メトロセブ、カガヤン・デ・オロでの合同調査の結果報告、今後の展開について

日 時：平成 29 年 3 月 7 日(火)14:00～16:30
(13:45 開場)

場 所：関内新井ホール(横浜市中区尾上町 1 - 8)

聴講お申し込み方法及び詳細：

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/yport/pdf/20170307workshopleaflet.pdf>

本調査にご関心のある企業の皆様は、Y-PORT センター事務局又は委託先企業にお問い合わせ下さい。

横浜市国際局国際協力課
〒231-0015 横浜市中区尾上町 1-8 関内新井ビル 3 階
Tel: 045-671-4396 Fax: 045-664-7145
担当： 中村、青田
E-mail: ki-yport@city.yokohama.jp

みずほ情報総研(株) 環境エネルギー第 1 部
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 2-3
Tel: 03-5281-5287 Fax: 03-5281-5466
担当： 熊久保、金井 E-mail:
kazuhiro.kumakubo@mizuho-ir.co.jp